

明和町小学校区編制にかかる基本計画（案）

第1回住民説明会 主な意見まとめ

中央公民館 令和2年1月30日（木）19：00～20：40 参加人数：24人

<教育面について>

- ・小規模校の方がきめ細かな教育ができ、目が届きやすい。規模が大きくなれば、逆にトラブルやいじめ等が発生するのでは（町外）。

<スクールバスについて>

- ・スクールバスの運用により、子どもや保護者の負担になるのでは（大淀地区）。
- ・スクールバスの維持費の見込みはどれくらいか（大淀地区）。

<防災面について>

- ・日常的な安全確保には地域に学校が必要（大淀地区）。
- ・冬場の避難所として、壁のある大淀小は統合せず残すべき（大淀地区）。
- ・津波対策で1階部分は生徒を置かず、2、3階で授業をさせてはどうか（大淀地区）。

<財政面について>

- ・なぜここまで財政が厳しくなったのか（大淀地区）。
- ・財政面から新しい学校を建てなくても、6つの小学校は耐震工事済だから、実際まだ使えるのでは。既存校舎を改修した方が効率的では。その方がコミュニティも維持できる（大淀地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- ・学校が無くなると、若い人が住まなくなり過疎化が進む。行政は責任とれるのか（大淀地区）。
- ・大企業が無いのが欠点であるので、企業誘致にもっと力を入れては（大淀地区）。

<スケジュールについて>

- ・スケジュール（案）を出されると、スケジュールありきで決められている、と感じる（大淀地区）。

<教育面について>

- ・現在の学童の状況は。統合された場合、学童はどうなるのか(田屋地区)。

<スクールバスについて>

- ・スクールバスは何台必要か。運転手はいるのか。バスの乗り降りの際の保護者の見送り等、車が沢山走っており、地域の人的サポート(老人会の見守りなど)が必要では。それをやっていけるか不安(浜田地区)。

<防災面について>

- ・休日に災害が発生した場合、町の中心まで逃げられない(志貴地区)。
- ・第2グラウンドは調整池となっている。統合小を建てた時、周囲が水没、河川の氾濫が無いよう、検討を(志貴地区)。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- ・統合後の旧校舎やグラウンドの管理は、地域の老人等に任すことになると思うが、荒れ放題にならないか(浜田地区)。
- ・まちづくりが非常に重要となる。北側は学校がなくなり、買い物もイオンくらい。どう人口維持していくか等、早いうちにまた意見交換したい(志貴地区)。

<校区編制について>

- ・なるべく学校の近くから通わせたい。20年後の統合小の場所が、実際どこになるか気になる(牛葉地区)。

<自由校区について>

- ・北野、東野、平尾の方が全員統合小へ行ってしまうと逆に南側の小学校の人数が少なくなる。自由校区にする必要はあるのか(匿名)。
- ・自由校区は地域単位なのか、個人単位で決められるのか。友達と別れることも考えられるが(平尾地区)。
- ・自由校区で、兄弟別の小学校へ行くことになった場合、行事に両方行けるよう、日程を分けてほしい(平尾地区)。

<防災面について>

- ・教育と防災をくっつけすぎではないか(大淀地区)。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- 町全体から、今後のまちの在り方（中心部へ人口を集めていくのか、等）を考え、示しながら説明いただきたい。将来の地域像がその辺により変わってくる（牛葉地区）。
- お金が儲かる方法を模索し、それを踏まえたまちづくりをし駅周辺を活性化できたら、人口維持可能では（牛葉地区）。
- 第2グラウンドで活動されている方は、統合後、どこで活動するのか（牛葉地区）。

<説明会について>

- 町外から引越してきた方も分かるように、通学方法など現状の説明も詳しくいただきたい（北野地区）。
- 60年先の人口予測について、地域別でも出していただきたい（牛葉地区）。

大淀小学校 令和2年2月1日（土）15：30～17：30 参加人数：52人

<再編小学校の施設について>

- 第2グラウンドへ統合小を建てたとして、急な迎えに老人が迎えに行けるのか。検討してほしい（西区地区）。

<教育面について>

- 大人数の教育は先生の目が届きにくく、いじめや不登校等を生みやすい（西区地区）。
- 諸外国でも、少人数体制による集中教育で学力向上が非常にみられる。大人数教育は世界に遅れをとる（西区地区）。
- 複式学級は、縦の繋がりができる。子ども達はまだ小さいので、統合した際、大きな集団の方がかえって無関心になる。小さな集団の方が逆に主体性等が芽生えるのでは（匿名）。
- 大規模校のすることは「切り捨て」。地域に密着した小さい学校があることが、明和町の良いところだった（町外）。
- 大規模校より小規模校の方が良い意見が、WHOのホームページなど、世界的にどんどん出ている（町外）。
- 小中一貫教育をしていく中で、新しくできた中学校は、どう活用していくのか（下御糸地区）。

<スクールバスについて>

- スクールバスについて、急にお腹が痛くなった場合等の際、バスは待ってくれるのか。保護者が遅らせて子どもを送る必要が出てきてしまうのか。複数台走らせた上、柔軟な対応ができるようにしてほしい（下御糸地区）。

<防災面について>

- 大淀小については盛り土した上、1階を教室無しにし、2階以上に教室を造れば安全ではないか（西区地区）。
- 地震の際、液状化など様々な異常が起きれば、遠くへ避難することは不可能。長期間滞在できるように、学校を維持していけば良いのでは（西区地区）。
- 避難タワーは足が悪ければ登れないし、真冬では耐えられない。学校があることで更に多くの避難所を確保できるのでは（西区地区）。
- 災害時、統合小へ一斉に避難してくると思うが、きちんと機能するのか（山大淀地区）。
- 東日本大震災で被災した学校がどんな役割をしたか、検討したのか（山大淀地区）。

<財政面について>

- 財源が足りないなら、大きな校舎を建てる必要は無いのでは。今の6校に耐震・免震機能を持たせれば十分ではないか。そうすれば、地域のコミュニティも守れ、目の行き届いた教育もできるのでは（西区地区）。
- 子どもの将来を考えたとき、お金が無いことで統合を進めるのはどうか。いくらでも節約できるのでは（匿名）。
- 統合小学校を造った場合と、6校を存続させた場合の費用対効果が書かれていない。具体的な根拠から結論を導いてほしい（町外）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- 小学校が無くなれば若い人がいなくなり、過疎化が進み、コミュニティの崩壊に繋がりがねない（西区地区）。
- 地域毎に学校がある方が、コミュニティがうまくいくと思うので統合には反対。学校の近くに家を建てる方もみえる（匿名）。

<スケジュールについて>

- 結局、スケジュールありきでは（中区地区）。
- どうして、ホームページ上にスケジュール（案）が載っていないのか。説明会でスケジュールを示したら、了解得られると考えているのかとってしまった（中区地区）。

<説明会について>

- 8年前からの協議してきた中で、なぜ住民説明会が無かったのか。いきなり新聞報道で知りショックだった（匿名）。
- どこまで意見を受け入れられるのか。結局、この（案）で決まる気がしてならない（山大淀地区）。
- これら意見の回答は、どこで頂けるのか。町外の者では見る機会も無いので、その辺考慮してほしい（町外）。
- なぜ、まちづくりやコミュニティ担当の部署の職員がこの説明会にいないのか。いた方が私達もいろいろと分かる（中区地区）。
- 次回の説明会はいつか。約束してもらいたい（中区地区）。

<校区編制について>

- ・廃校ありき、年数ありきでは無い、ということをお願いしたい（有爾中地区）。
- ・南海トラフ地震はいつ起こるか分からないので、個人的には順調に統合計画が進んでほしい。その中で、行政として立場上譲れない部分を、丁寧な説明をお願いしたい。住民の多数の意見をできる限り反映を（東野地区）。
- ・逆に菘村地区の子を修正に来させられないか、検討してほしい（明和団地地区）。

<自由校区について>

- ・自由校区について、町が行先を指定するのか、保護者が選べるのか（有爾中地区）。
- ・実際、今でも他の小学校へ行っている例はあるのか（明和団地地区）。

<教育面について>

- ・いじめ問題は規模の問題ではなく、その学校の対応方法によると思うが（有爾中地区）。
- ・修正小の複式学級は数年後に解消されると聞く。統合には疑問が残る（有爾中地区）。
- ・統合が決まってからの、数年間の子どもへの負担が大きい。この数年の間に他の小学校と交流できる場を。いざ他の大きい小学校へ行く際に不安が少なくなるよう、お願いしたい（有爾中地区）。
- ・統合が決まれば、就学前から考えると、最初から他の小学校へ行った方が負担少ない（有爾中地区）。
- ・統合した際に起こりうる問題（いじめ、差別、等）の対策を（有爾中地区）。

<防災面について>

- ・修正小には津波は来ないし、耐用年数にも余裕がある。他の小学校へ行くにあたり、逆に通学の安全面の課題が出るのでは（有爾中地区）。

<財政面について>

- ・統合理由の一つである、財政面について説得力が無い。費用対効果を示してほしい（有爾中地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- ・治安等悪くならないよう、廃校後の修正小の維持管理等の計画の検討を（有爾中地区）。
- ・近くに小学校があるから住宅等建った部分もある。安全面、団地の活性化のために残してほしい（明和団地地区）。

<スケジュールについて>

- ・スケジュール（案）は、これでやっていく自信があるのか。このくらいの気持ちで行く、ということか（明和団地地区）。

<説明会について>

- 地域への説明より新聞に先に出た。怒りを覚えた。議員へも先に説明すべきだった（有爾中地区）。
- 今日見せていただいた表などを頂きたい（有爾中地区）。
- 出た意見等を広報やホームページ上で周知していただきたい（東野地区）。

明星小学校 令和2年2月2日（日）13：00～14：10 参加人数：16人

<教育面について>

- 統合小が出来たら、斎宮小と明星小も一緒に小中一貫教育を行うのか（本郷地区）。
- 小中一貫教育を行うにあたり、統合小と斎宮小、明星小とで学力格差が出るのでは（明星地区）。

<スクールバスについて>

- スクールバスを運用すれば、児童の体力低下に拍車がかかるのでは（本郷地区）。

<防災面について>

- 旧校舎に津波避難タワーの機能を持たせたいとあるが、津波で被害を受ける可能性がある。特に大淀小は液状化の心配がないのか（菘村地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- この計画に賛成だが、最近サルやイノシシの出現で子ども達が外で遊びにくい環境になってきた。そういう事も考慮して学校整備、まちづくりをしてほしい（新茶屋地区）。

上御糸小学校 令和2年2月2日（日）15：30～16：30 参加人数：22人

<財政面について>

- 財政面について、統合小を建設する場合の費用を示していただくと、もっと良い議論ができるのでは（坂本地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- 都市計画も、財政を勘案した計画が必要（坂本地区）。

大淀会館 令和2年2月4日（火）19：00～20：40 参加人数：36人

<校区編制について>

- 安心安全という意味での統合は賛成。災害はいつくるか分からないので、ここまできたら進めてほしい（東区地区）。

<教育面について>

- 統合後、学童保育はどこで行うのか（中区地区）。
- 統合後、異なる地域の子が集まる中、それぞれの地域の歴史や文化等、郷土に関する教育をどう組み込んでいくか、もっと具体的に教えてほしい（東区地区）。
- 統合小の教育に、体験型防災プログラムを是非入れて、地域の方と繋がりを持たせたり、子ども達に危機管理能力を身につけさせたりしてほしい（東区地区）。
- 教育や防災等で活かせる部分について、地域をどんどん使ってほしい。郷土愛が育つと思うので、大きくなって県外へ行っても、将来に生きてくる（東区地区）。
- 郷土愛の教育について、外来講師という形で地域の方が学校へ来て教えてもらう回数を増やしてはどうか（山大淀地区）。
- 現在、大淀小と下御糸小は月に何度か避難訓練しているが、統合小ではどんな訓練計画を考えているのか。大淀小の場合は、タワーや道中のブロック塀を活用して学習できているが、それらを学べる機会が無くなるのでは（山大淀地区）。

<スクールバスについて>

- スクールバスのバス停等を町民バスくらいは最低ほしい。7時50分に家を出れば学校に間に合うようにしてもらえたら、全面的に計画に賛成（東区地区）。

<防災面について>

- 統合後、家にいるタイミングで災害が発生した場合、避難場所はどうなるのか。津波避難タワーでは冬は寒い。近い所に学校があった方が有難い（中区地区）。

<財政面について>

- 統合小を建てる場合と、今の6校を維持した場合と、それぞれいくらかかるか（中区地区）。
- 盛り土をして、今の規模のまま建てたほうが安くないか。財政面が理由であれば、もっと試算して検討すべき（中区地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- 海岸沿いの過疎化に拍車がかかる。学校が無い所に家を建てない。どう対処するのか、いつか必ず答えをいただきたい（中区地区）。
- 老人会の見守り等、子ども達と老人達の繋がり強い。行事等で子どもと老人がよく話をしているが、無くなってしまふ。具体的な対策は考えているのか（中区地区）。
- 第2グラウンドへ年配の方は、わざわざ行かないと思う。地元にあるのがコミュニティに一番だ（中区地区）。
- 行政側からコミュニティとしての活用法のモデルを先に提示してほしい。一般住民ではわかりにくい（中区地区）。
- 小学校や保育所が無くなるので、大淀地区の評価額が下がり、固定資産税や住民税を安くするなど、思い切った施策を打って大淀に住むメリットを増やせば、住む人も増えるのでは（東区地区）。

- ・祇園が好きな方が多いので、統合を機に、斎王と大淀をくっつけて町としてPRしてほしい（東区地区）。

<説明会について>

- ・これから小学校へあがる子を持つ親御さんが来ていない。もっと啓発活動をしないと、最終決定する際、揉めると思う（東区地区）。
- ・実際に小学校が統合後、地域に学校が無くなり子どもがいなくなりそうな場所があるので、示された統計や推計は見直した方が良いと思う（山大淀地区）。
- ・統廃合により地域が無くなった等の失敗例や、逆に成功例を紹介してほしい（匿名）。

みいと会館 令和2年2月5日（水）19：00～20：40 参加人数：20人

<校区編制について>

- ・2校案とあるが、1校ではいけなかったのか。どんな意見が出たのか（田屋地区）。
- ・将来的に町全体の人口が減っていく想定の中、財政難ということもあるので、第1期の統合小は広めに造り、第2期統合時にそこへ入れるようにしては。小中一貫教育の観点からも、まとめた方が良いのでは（田屋地区）。
- ・経過措置として、分校にしてはどうか。私は1～3年までは分校だった。一気にすると、空き家状態が怖いのと、この周辺の過疎化が一気に加速する。それと、7歳になっていきなり第2グラウンドへ通うと、郷土意識が無くなっていく（浜田地区）。

<スクールバスについて>

- ・スクールバスに、全くペースが違う小1と小6の子を乗せるのは、心配（浜田地区）。
- ・スクールバスが何台も一斉に運用が始まる中、現在、地域の見守り隊をしているが、バスの乗り降りの際などの見守りをどうするのか（浜田地区）。
- ・スクールバスについて、運用事例を、他県等へ赴いて目で確認して調査してほしい（八木戸地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- ・跡地利用について、老人ホームになった例もあるが、こういった活用も検討したのか（浜田地区）。
- ・台風等によりガラス等が割れた場合、旧校舎の管理は誰がするのか。また、統合して学校に人がいなくなると、獣や不法投棄が増えるのでは（浜田地区）。
- ・新規に引っ越ししてきた親御さんは、新しく出来る学校の周辺に家を建てると思う。ここは必然的に過疎化が進むのでは（浜田地区）。

<説明会について>

- ・資料の「地域との関りを重視していくことが必要と考えております。」の表現は、小学校にすぐ携わって色んな活動をされている方もいるので、おかしいのでは（八木戸地区）。

<校区編制について>

- 全国で一番多い小学校の人数はどれくらいか。小学校1校区は検討したのか。1校にした方が財政的にも良いと思うが。他県の大規模校の確認はしたのか(南野地区)。

<教育面について>

- 修正小について、いじめ等はあるのか。把握しているのか(下尾地区)。
- 修正小は昔から少なかったが、複式になるような予測はしてなかったのか(下尾地区)。
- いじめ等の対策のため、複数学級は必要だ(下尾地区)。

<スクールバスについて>

- 大淀や下御糸地区の子がどうやってスクールバスで通うのか。ルートや集合時間、乗り遅れた場合など、親としては意外とそういう細かい部分が気になる。保護者は何時に起きる必要があるかなど、細かい部分をもう少し増やして説明した方が良い(下尾地区)。

<防災面について>

- 大淀小は耐用年数が来て危ないから統合するのに、それを津波避難タワーのような活用を考えるのは、整合性が無いのでは。何年後には解体する等の丁寧な説明をしていくべきでは(南野地区)。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- 統合された場合、大淀や下御糸地区にも人が住んでもらえるように、何らかの対策は考えているのか(下尾地区)。
- これまでに廃校になった施設は何かに使われているのか。他の建物の事を考えた上で、財源について考慮し、校区の再編を検討すべき(下尾地区)。

<校区編制について>

- 斎宮小や明星小と同じ扱いにしてほしい。北の3校とは意味合いが違う(有爾中地区)。
- 岩内地区や池村地区、菘村地区の子を修正小へ来てもらうのは、できないのか。この辺りの子は修正小の方が近くて良いのでは(有爾中地区)。
- 人数が少ないという観点はあるが、逆に人数が多いという話が出ていない。適正規模を念頭に入れて検討してほしい(明和団地地区)。
- 修正小においては、校区編制ではなく学校編制を上手く行えば、複式学級は解消できるはず。菘村地区の子を来てもらうなど。柔軟に考えてほしい(明和団地地区)。
- 近いからと言って北野地区の子を統合小へ行かせれば、結構な人数となる。人数が少ないのも問題だが、上限についても考えてほしい(明和団地地区)。

<自由校区について>

- ・自由校区について、近所の子が別々の学校へ行くことも考えられるが、地域の分断につながらないか。結局、子どもの数が減っていかないか（有爾中地区）。

<教育面について>

- ・複式学級について、できるだけ加配をつけてもらえるようにしてほしい（明和団地地区）。
- ・複式学級の説明に、本質を含めた実態の説明を入れてほしい（明和団地地区）。

<スクールバスについて>

- ・スクールバスについて、運用の基準は考えているのか（明和団地地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- ・昨年の台風時、修正小の進入路が冠水し、避難所が閉鎖された。進入路を嵩上げし、避難所として機能するようにしてほしい（明和団地地区）。

<説明会について>

- ・説明された合意形成を、是非ともお願いしたい（有爾中地区）。

明星会館 令和2年2月13日（木）19：00～20：50 参加人数：18人

<校区編制について>

- ・将来、この計画が良かった、と思えるような町にしてもらいたい（本郷地区）。
- ・第2期の統合については長期計画なので、町がどういう動きか等様々な事を加味しつつ検討願いたい（匿名）。

<自由校区について>

- ・修正小の自由校区について、できれば全員明星小へ来てもらいたい。その方が斎宮小との人数的なバランスがとれる（明星地区）。
- ・学校選択を自由になると、親の意向が出てくる。子ども達にとっても、まとめて同じ学校へ行くのが良いのでは（明星地区）。
- ・修正小の自由校区について、学校は子どもが決めるべき。親はエゴで出てくる（明星地区）。
- ・修正小や平尾、東野、北野各地区の自由校区については、行政が行先を決めてほしい（明星苑地区）。

<教育面について>

- ・みょうじょうこども園を見ていると、修正地区や斎宮地区などの子が来ていて、顔馴染みになっている。もし修正小が統合されて明星小へ来ても、一緒になって育つのでは。だから、もっと小さい頃からの教育面をしっかりと考えていった方が良い（明星地区）。
- ・子ども達は他の場所へ行っても学習して適応していく。幼保の統合を見てもそうだ。それなら、小さい学校よりも大きい学校へ行って教育を行った方が良い。社会へ出て人との

付き合いができる（明星新町地区）。

<財政面について>

- 一番危惧しているのは、財政関係よりも斎宮跡関係である。3，4級区域は空き家になっても買い取れない。また、維持管理費等の見直しも必要。年間6500万円ほどかかっているはず。文化庁へ足を運んで対応お願いしたい（明星地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- 統合されても旧校舎は残るので、子ども達の学童の場や老人達が子ども達へ何か教える場所などで活用しては（明星新町地区）。

<説明会について>

- 平尾地区の方が明星小へ行けず、斎宮小へ行った経緯もある。これからの若い方の意見を聞いてもらいたい。若い方が参加し、意見を言える場を作ってほしい（明星苑地区）。
- P T Aと地域を含めた連携をして、将来の大事な子ども達を作っていくかといけない。しかし、説明会にどうしてP T Aの方がこんなに少ないのか。後で文句を言ってくると思うが（本郷地区）。

<その他>

- 明星小の体育館にエアコンを早くつけてほしい。また、校舎も老朽化が激しいので、是非、環境改善を（明星苑地区）。

いつき会館 令和2年2月18日（火）19：00～20：20 参加人数：14人

<校区編制について>

- 隣接地に小学校が2つある事例が、他の県や市町にあるのか（牛葉地区）。
- 隣に小学校があるなら、1校の大きい小学校を建ててはどうか（牛葉地区）。
- 斎宮小と明星小の統合は、令和20年頃との説明があったと伝えて良いか（竹川地区）。

<教育面について>

- 小中一貫教育について、どうしても中学校と隣接した統合小が、明和中との交流が斎宮小や明星小と比べて盛んにならないか（牛葉地区）。

<スクールバスについて>

- スクールバスについて、登下校以外にも、学校間の交流や、小学校の子が中学校へ日中に行く際の移動手段、また社会見学や修学旅行等に使用できれば、小中一貫教育にもつながるし、経費の削減にもつながると思うので、有効活用をお願いしたい（竹川地区）。

<防災面について>

- 建設候補地の第2グラウンド周辺は大雨等で冠水する。調整池等の整備を（牛葉地区）。

<財政面について>

- ・令和7年までに統合小を建てる計画で進むのであれば、令和7年までに役場の建て替えは難しいのか。県下で一番耐震性が無いと聞き、心配（牛葉地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- ・今第2グラウンドを使用している子は、統合小が建ったらどうなるのか（平尾地区）。
- ・統合した後の旧校舎の活用について、維持管理費が結構かかるのでは（牛葉地区）。

ささふえ保育所 令和2年2月20日（木）19：00～20：00 参加人数：14人

<教育面について>

- ・1学年100人程度の規模をWHOが推奨している。いじめが無くなる、先生の目が行き届く。逆に規模が大きくなれば目の行き届きがなくなり、いじめも増え、指導もままらなくなる。2校にすると維持費は少なくなるが、いじめやコミュニケーションの問題が沢山発生するのでは（大淀地区）。

<スクールバスについて>

- ・スクールバスは、今の段階で通学距離等、ある程度の（案）はあるのか（匿名）。

<スケジュールについて>

- ・もっと早く進めた方が良い。維持管理費が結構かかる。遅い（匿名）。

<その他>

- ・「統合」と「編制」の言葉の意味について、「編制」は大きいものを小さいものに、ということ。今回の（案）で学校区の編制という部分で、大きなものを小さくしていないので、言葉の意味的にずれていないか（大淀地区）。

みどり保育所 令和2年2月25日（火）19：00～20：00 参加人数：8人

<校区編制について>

- ・来年修正小へ入る予定だが、統合計画より、どこへ行くことになるだろう（斎宮地区）。

<教育面について>

- ・小中一貫教育を開始するのは、何年くらいの予定か（斎宮地区）。
- ・学童の状況について教えてほしい（斎宮地区）。

<スケジュールについて>

- ・修正小は、いつ頃自由校区になるのか（斎宮地区）。

(無し)

パブリックコメントより

受付件数: 15件 (上御糸校区: 2件、下御糸校区: 1件、大淀校区: 0件、
斎宮校区: 3件、明星校区: 1件、修正校区: 0件、匿名: 8件)

<校区編制について>

- 統合には反対 (匿名)。
- 20年後の事で状況も変わってくるかと思うが、斎宮小学校について、明星、修正小学校と統合するのは、生徒数も少なくないこと、放課後児童クラブも新しく整備されたばかりであることなどから、反対 (斎宮地区)。
- 竣工より60年目を節目とするなら斎宮小、明星小は後何年存続するのか (明星地区)。

<自由校区について>

- 自由校区賛成します。第2グラウンドへ通う方が近いので、通学の安全面等考えたら近い方に通える方がいい (斎宮地区)。
- 自宅から斎宮小まで距離があるため、計画案通り小学校の選択制ができるの良い (斎宮地区)。
- 斎宮小学校を自由校区にした場合に複数、複式学級に成りえる可能性はないのか (明星地区)。

<教育面について>

- 校区再編に伴い、子ども達の精神面を見て頂けるような先生、場所も準備して頂きたい。また、夏季学童の給食もできればお願いしたい (上御糸地区)。
- 教育費の削減のために、統合なんてあり得ない。少人数の方がいじめも少ない、先生の目も行き届く。自律心も育ちやすい。それに学力もその方が向上する。大きな学校では小学生はかえって、周りに無関心になる。他人任せになりやすい (匿名)。
- 小さい学校の方が先生や地域の目も行き届き、いじめも少なく、学習能力も向上するはず。老朽化した校舎は建て替えて良い (匿名)。
- 学校を立て替えるなら、小さな学校、目の届く教育に絶対かえるべき。勉強が出来るだけの人材は、すでに必要ない時代であり、必要な人材とは、知識が応用でき課題解決ができる人材である。さらに求められている人材は小集団のなかで主体的、かつ積極的に自らの能力を発揮できる若者である。大集団では決してこのような能力は育めない。このことを理解してほしい (匿名)。
- 少人数制の学校がいいので統合には反対 (匿名)。
- 小学校統合について反対です。統合した場合、生徒数に対して先生の目が行き届かない。生徒内でのいじめの拡大。成績の個人差、保護者の行事の不参加、登下校の距離、など様々な問題が発生する可能性が十分にある。また、大人になって遊ぶ友達は、地元小学校で6年間過ごした友達である (匿名)。

- ・存続する斎宮小と明星小についても、同時に小中一貫教育を始めるのか（明星地区）。
- ・大人数での目の届かない教育に端を発した、いじめ引きこもり、体罰、学力低下、無理な規則、管理による自主性のない子供達。現在、小規模学校、学級による教育が世界中で進められている。子供達の未来は人口減少による小規模な社会であり、さらに学力だけでは通用しない。主体的に積極的に能力を発揮し問題解決が出来る若者を求めている。今からは小規模学校による目の届く教育で、人間形成の取り組みが必要である。よって、統合に反対（匿名）。

<スクールバスについて>

- ・町民バスを通学手段として使うことも検討してほしい（明星地区）。

<防災面について>

- ・未来を担う子ども達を守るために、あらゆる災害を想定して建設場所を決定するのは当然のことであり、近い将来発生が予測される南海トラフ地震等が起こっても、津波等の心配のないような場所での建設を最優先で検討されたい（上御糸地区）。
- ・ハザード区域だからこそ、避難場所が1つでも多く必要であると考えべき。防災機能を持たせた小規模校舎でも十分。これだけで教育、防災、地域コミュニティ、文化などが守れる（匿名）。
- ・津波浸水の関係で、統合して低い土地に新しい学校を建てない方が良いので統合には反対（斎宮地区）。

<コミュニティ、跡地利用、まちづくりについて>

- ・無くなった地区が過疎化と思うので、統合には反対（匿名）。
- ・第2グラウンドは野球やソフトボール、サッカー場となっているが、グラウンドを無くした場合、クラブ活動への影響はどうか（明星地区）。
- ・廃園、廃校などでコミュニティの核をなくしたことによる子育て、生産世代の流出、それに伴う急激な過疎化。このような問題に対して具体策もないままでは納得出来ない（匿名）。
- ・地域の交流が薄れてしまうことから、統合には反対（斎宮地区）。

<スケジュールについて>

- ・幼稚園編制でどうなるのか不安だったが、次は小学校編制で、また一から友達作りになる。子供達にとって人間関係は凄く大事な事であり、それが2度の編制となると精神面が心配。できるだけ早く校区再編して頂きたい（上御糸地区）。
- ・再編整備自体は避けられないことと思うが、令和7年度に校区を再編するのであれば、幼稚園や保育所の再編により元々の幼稚園や保育所を卒園させてもらえず転園した子ども達が、また最後の1年を通い慣れた学校で過ごせず転校してしまう。この1年、転園させられた子ども達を見ていて、卒園・入学前の大事な1年間に子ども達が小さな心を痛める姿を何度も目にした。また転園の際には、友達と離れて「なんでみんな一緒に幼稚園じゃないの？」と聞かれ、また、今の幼稚園の卒園が近づくと「今のお友達と一緒に小学校だ

ったらいいのになぁ」と呟かれ、答えに困ることもしばしばある。検討の余地があるならば、計画を1年早める、又は1年遅らせることにより、子ども達が、再び「最後の1年だけは別の学校」という状況を作り出さないよう、子ども達の心情にも配慮した開校時期の再検討を強くお願いしたい。 同じ子ども達に2度も「あと1年なのに・・・」という、つらい思いをさせないようにしてほしい（下御糸地区）。